

クリエイティブマネジメントが人を組織を変える

ワークショップのご提案

はじめに

成長には、自分以外の“**視点**”が必要です


それによって“**気付き**”を得ることが出来ます

“**気付き**”を得ることが出来なければ

いつまでも同じ場所を彷徨うこととなります

弊社が提供するプログラムは、コーチングをベースに個・組織の内なる壁を除き、

新たな成長に向けた取り組みを、新たな視点の先に実現できるよう導くものです

※ツールとして用いる  **POINTS OF YOU** は、Israelでコミュニケーションツールとして開発され、
Creative Tools for Training & Development

世界147カ国25言語以上に翻訳、企業・個人を問わずワークショップの場で活用されています

“**気付き**”・・・それまで見落としていた事や問題点に気づくこと

“**視 点**”・・・物事をみたり考えたりする立場。観点。

Imagination

想像・想像力

Creative

新しいものを自分の手で作り出すさま

創造的・独創的

Let's think about it.



弊社の提唱する **Creative management** とは何か？

一般的に **creative management** というとき、それは広告宣伝 またはアートなどのクリエイターの管理職をさしたり、その工程管理などを意味することが多いと思います

弊社のそれは全く違います！

『**CREATIVE(創造的・独創的)思考を、自己管理しコントロールすること**』
常に“気づき”を持ち 複数の視点を持てるよう習慣化する

現代社会において **想定内** で対応出来る事は少なくなってきました。
マニュアル(定型)対応ではCOVID-19のような事象を、過去のパターンに当てはめて対処することは難しく、対応に時間を要します。

複数の視点を持つこと！

これは他者理解を深める事につながります。
相互理解を深め自分以外の視点を持つこと！以前は飲みにケーション等でバランスをとっていた組織も多かったかと思います。

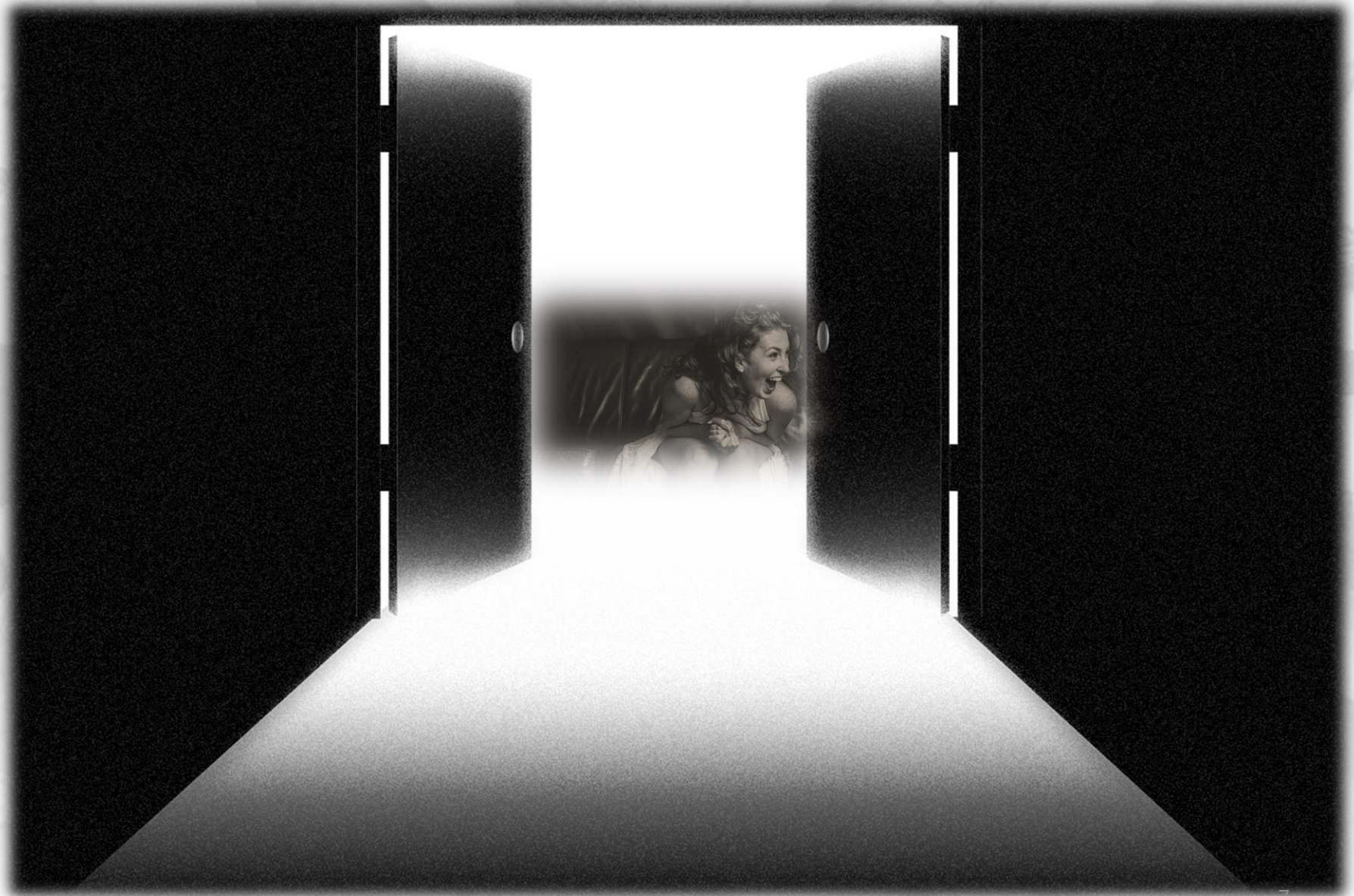
御社内研修やセミナーへの導入をご検討下さい。

変化への気づき、新たな可能性を実感頂けます。

Points of view.



“気付きの扉”を開けてみましょう！



思考

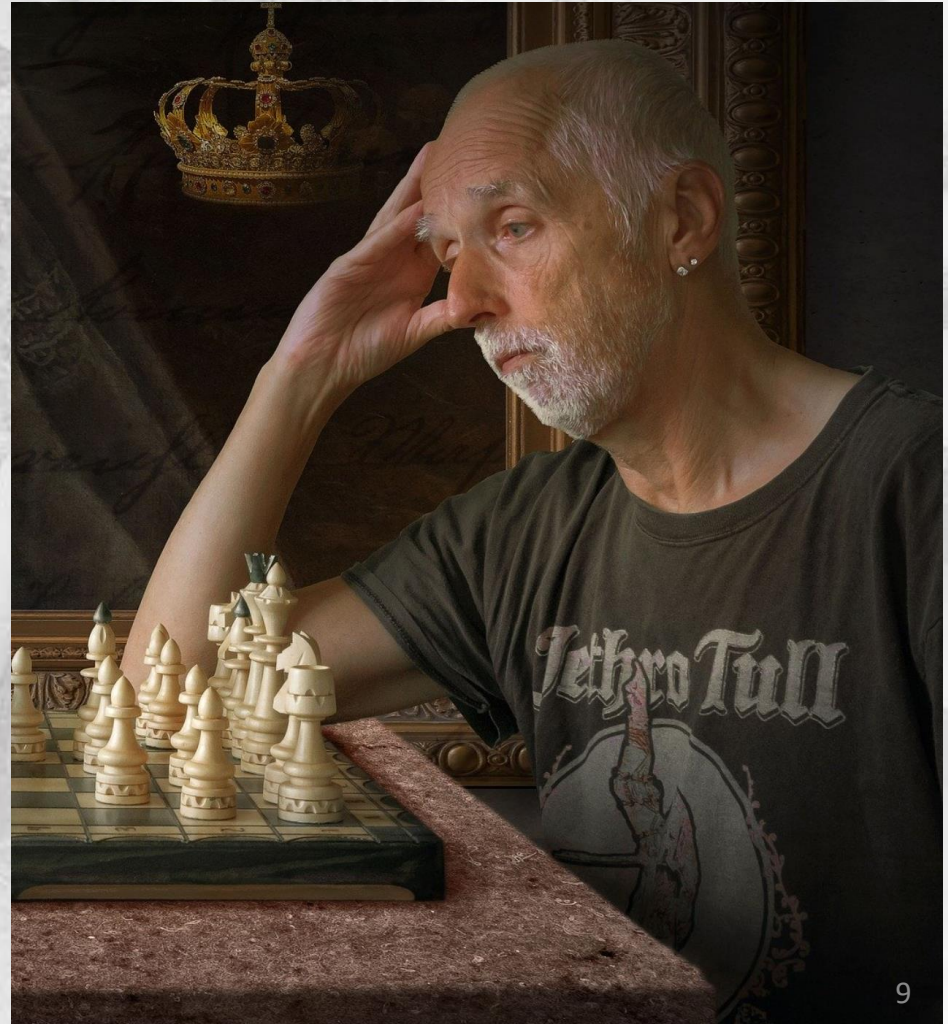
一般的に、人は（自分の知識や経験という）枠を超えて考えることが不得手です



“視点を変える” その先にある“○○”を**イメージする力**を身に付ける

思い込み

人は、（今までの）経験で物事を判断しようとする癖がつきます

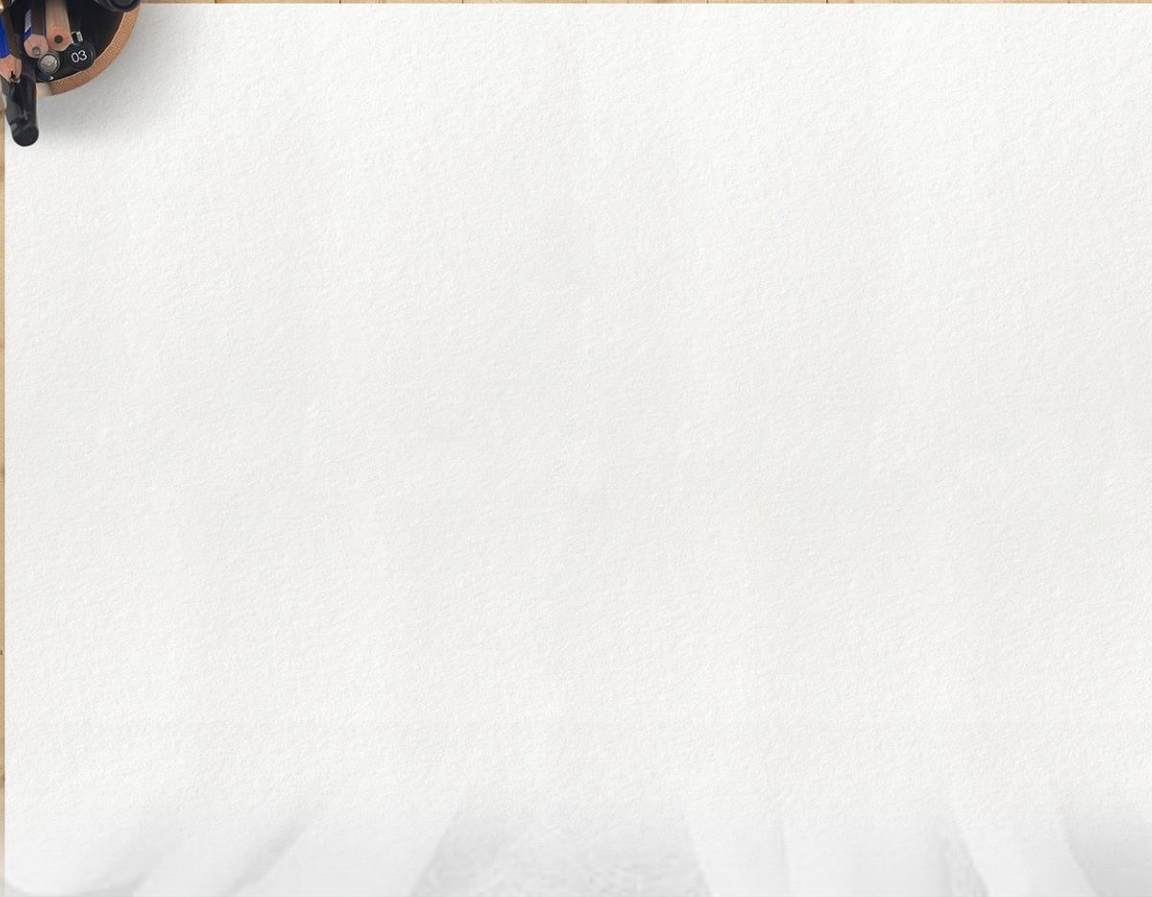
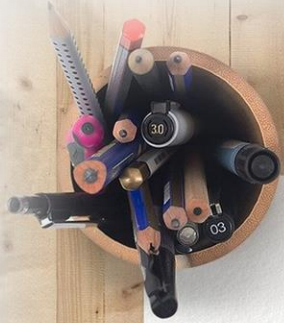


知識を、“知恵”として活用・応用すること

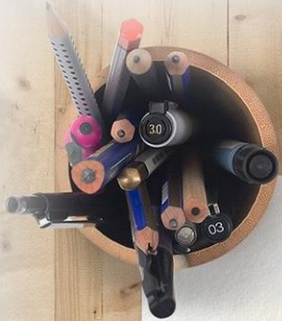


子供の頃のように、純粹に物事見る事！それが“気づき”の第一歩

Imagin



Imagin



Creative

CREATE

Choice



Choice



“チームアップを実現”

～リスクマネジメントの出来る人材を生み出す
教育プログラムのご提案～

弊社の提唱する **TEAM UP** とはなにか？

TEAM WORK . . .

学校での集団行動や活動、また部活動や課外活動においてよく使われています
すなわち、

「チームに属するメンバーが、仲良く一丸となって物事に取り組む」

長らく企業にもTEAM WORKが求められてきました。ファミリーのような存在であったからです

TEAM WORKには教育という側面もあり、集団の中で学び育てる(OJT) ことがメリットでした

ではこのTEAM WORKの**弊害**とは何でしょうか？

変化にスピーディーに対応できるよう強く求められ始めたため、教育が機能しなくなり(崩壊)、
集団成果と個の対応力が必要になりました。結果、モチベーションの低下がみられる組織・個が
増え、リーダーのストレスが激増し組織の構造疲弊が散見されています。

それでもTEAM WORKでは、リーダーの素質(教育)やマネジメント能力が大きく問われ 次世代の
リーダー希望者が増えない悪循環にはいつてきています。

弊社の提唱する **TEAM UP** とはなにか？ ②

Current issues . . .

想定出来得る事態への対応マニュアルが整備されている組織や、組織内フローの完備と風通しの良い組織、また強力なリーダー資質を有する人材が多い組織では、TEAM WORKの推進・活用で成長出来ます。

しかし、幾多の変更を重ねられた教育制度や 急激な時代の変化により、個の価値観や他への理解は大きく変わってきています。

それを“**ジェネレーションギャップ**”と一括りに言われる方もいます。

しかしそもそも昔から価値観は個々によって区々でした。ただ共通した大きな目標に向かって(終身雇用制度があった為)纏めることが出来たのです。

それではこれからの社員・組織教育はどうあるべきなのでしょう？

弊社の提唱する **TEAM UP** とはなにか？ ③

TEAM UP . . .

『個々のモチベーションアップが必須』

モチベーションアップするには、『個々の相互理解が必須』

『相互理解』 . . . それは自他の“思考を理解”すること

『己を知り、相手を知る』

『相手を知ることで、己を再発見できる』

『相互理解が深まれば、個の認証欲求が満たされ ストレスが減少し
組織として各々のスキルを十分に生かせる土壌が生まれ、成長が可能となる』

**※己を殺して組織に属し仕事に向かうのではなく、己を活かして
相互理解の環境にて己の力を成長させ存分に活かす。**

結果！組織が成長する※

ご提案内容

チームワークから、

チームアップへ！



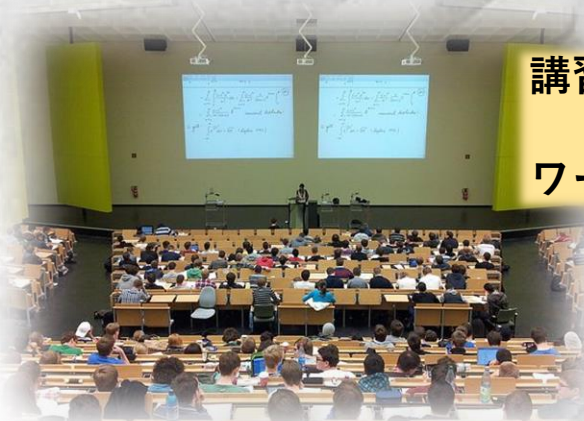
☞ そのためには、個々のスキルアップが必要

他者との比較でなく、
自分自身(内側)の理解が必要

☞ そのためには、向き合える環境と学び仲間との距離感が重要

講習(講義形式)ではなく、

ワークショップ形式(more familiar)





参考：活用コーチング技術について

What's your
super power?

POINTS OF YOU™
Creative Tools for Training & Development

Points of You®とは？



Points of You®とはトレーニングや人材開発の分野におけるIsraelのリーディングカンパニーです。

Points of You®は、新しい視点(Points of View)を探索し、見つけ出すことを促進するためのツールを生み出しました。

2019年11月現在147カ国、25言語に翻訳され20万個のツールを提供しています。

日本では2014年にPoints of You Japanとして活動を始め、2000人以上の認定者が全国で活動しています。

導入企業一例

Google

IKEA

intel



Points of You®が起こしたい3つのこと

OPEN HEART

(心を開く)

BREAK PATTERNS

(パターンを壊す)

SENSE OF BELONGING

(つながりの感覚)



株式会社twill weave代表の久保田は、
Points of you®国際認定資格L2～Practitioner～を有しております

国際認定資格が取得できるワークショップの開催運営の他に、
そのコーチング技術をワークショップのベースに取り入れ、
オリジナルプログラムを創ることで、チームアップを生み出します

体験会・ワークショップ開催のお問合せは下記まで！
2名から20名までのグループで開催できます

contact@twill-weave.com

